

“和”食文化推進協議会

平成25年度事業報告

「ごはん食推進フォーラム～世界に誇る、私たちの和食～」出展

[日 時] 平成26年2月26日

[主 催] 農林水産省

[会 場] ザ・リッツ・カールトン東京

[対 象] 量販店、中・外食産業、学校給食等、食の関係事業者等

[来場者数] 226名

[実施概要]

当協議会のキックオフイベントとして、本フォーラムに出展。朝食の条件を満たした『時短和食の朝食献立』の提案を行った。

前掲のとおり、『基本型』とこれを応用した『ワンボール型』、『手巻き型』の3種をモデルメニューとして発表するとともに、実際の調理サンプルを展示した。来場者からは生活のニーズに合った食事の型が必要であるとの共感を得た。

平成26年度事業報告

小学館「女性セブン」掲載

[掲 載 日] 平成26年9月25日

[発行部数] 約40万部

[仕 様] センターカラー8ページ

[対 象] 一般消費者・生活者

[実施概要]

『朝活の第一歩は、和ごはんから！』を訴求テーマに、同誌にて、5食材を活かした和食の朝食メニューを提案した。

メニューは料理研究家の鈴木登紀子氏に10点、分けとく山総料理長の野崎洋光氏に8点考案してもらい、同時に5団体各々の食材の栄養面、健康面での良さを紹介した。当該掲載8ページは別刷りにして、各団体2,000部ずつをそれぞれのイベント等で配布し、改めて和朝食への関心向上を図った。

平成27年度事業報告

WEBサイト「マイナビウーマン」掲載

[掲載期間] 第1期 平成27年9月29日～12月21日 第2期 平成28年2月4日～4月27日

[読者数] 1,000万人／月

[掲載場所] マイナビウーマン内「ライフ」カテゴリー 『簡単にできる和朝食』

[対象] 若い主婦層など

[実施概要]

5食材(米・みそ・卵・納豆・海苔)を使い、栄養バランスのとれた簡単にできる和朝食づくりのコツを2期に分け、長期的な提案を行った。

第1期では、新米主婦でも5食材を使って10分で作れる和朝食を「簡単な時短テクニック」とともに紹介した。第2期では、5食材に「ゆでるだけの常備野菜」を加えることで、栄養バランスアップやバリエーションアップできることを紹介した。

平成28年度事業報告

(1)主婦の友「CHANTO」掲載

[掲載日] 平成29年3月7日(2017年4月号)

[発行部数] 約18万部

[仕様] 見開きカラー2ページ(P.82～83)

[対象] 主に共働き世帯の主婦

(2)WEBサイト「日経DUAL」 ※CHANTO掲載内容の転載

[掲載日] 平成29年3月8日

[読者数] PV:358万人／月 UU:68.5万人／月

[掲載場所] 日経DUAL内「生活・家事」カテゴリー 『栄養たっぷり！10分で作れる“和朝食”』

[対象] 共働き世帯の夫婦

[実施概要]

『栄養たっぷり！10分で完成♪時短で作れる“和朝食”』をテーマにCHANTO誌にて、3食材(米・納豆・海苔)を活用した「一汁二菜」の時短献立3種を提案した。また、その内容を「日経DUAL」へ転載し、長期的な露出を図った。さらに当該2ページに表紙・裏表紙を加えた4ページ構成の別刷り10,000部を製作。それぞれ団体の会員やイベントなどで来場者に配布し、各食材の取り扱いを含めて「時短和朝食」を訴求した。

平成29年度事業報告

(1)公式WEBサイト公開

[公開日] 平成29年4月4日
[仕様] パソコンおよびスマートフォン対応
[アドレス] <http://wa-shokubunka.com/>

[実施概要]

平成26年度の「女性セブン」出稿を除く、平成25年度から平成28年度事業の成果を再編集し、当協議会の公式WEBサイトとして公開。一年を通じた情報の露出による「簡便な和朝食」の訴求と、当協議会活動のPRを図った。

(2)「ごはん STICK STOCK」の開発と動画およびリーフレット作成ならびに公式WEBサイトへの掲載

[公開日] 平成30年3月30日 ※公式WEBサイト掲載日
[掲載場所] 公式WEBサイト「かんたん和朝食をつくろう！」カテゴリ「ごはん STICK STOCK」
[対象] 共働き世帯の家族、単身者など

[実施概要]

火を使わずに食べることができる3食材(米・納豆・海苔)の特長(即食性の高さ)を最大限に生かし、子供や高齢者でも「作る、食べる、片づける」が簡単にでき、かつ、実用的な朝食スタイルとして、『ごはん STICK STOCK』を開発。その作り方や食べ方を動画およびリーフレット形式にまとめて共有し、併せて当協議会の公式WEBサイトに掲載した。

平成30年度事業報告

(1)「塾の日ごはん」小冊子およびご飯型の作成ならびに公式WEBサイトへの掲載

[公開日] 令和元年6月25日 ※公式WEBサイト掲載日(制作完了は平成31年3月26日)
[掲載場所] 公式WEBサイト「かんたん和朝食をつくろう！」カテゴリ「塾の日ごはん」
[対象] 成長期の(特に中学校・高校受験に向けて塾に通う)子供と保護者

[実施概要]

相模女子大学の吉岡有紀子教授監修の下、成長期の子供、特に学習塾などに通う子供とその保護者などを対象として、塾の日の食事、「塾の日ごはん」に関するワークブック形式の小冊子を制作。食事に関する知識だけでなく、塾の前や帰宅後にチンするだけの「ごはんスティックストック」と塾のお弁当などにピッタリな「おにぎらず」の作り方なども併せて紹介。この小冊子に、「ごはんスティックストック」や「おにぎらず」が上手にできるご飯型をセットし、次年度より、全国の学習塾などを通じて配布を予定。なお、本内容を公式WEBサイトに掲載すると同時に、本事業が、これまでにテーマとしてきた「和朝食」の枠を超えたため、これを「和食ごはん」に変更し、公式WEBサイトに反映した。

令和元年度事業報告

(1)全国私塾情報センター月刊誌「私塾界」(塾の日ごはん)

[掲載日] 令和2年2月1日(2020年2月号)

[発行部数] 5,000部

[仕様] 見開きカラー2ページ(P.12~13)

[対象] 主に学習塾経営者

(2)同誌公式WEBサイトへの掲載※誌面掲載内容の転載

[公開日] 令和2年2月1日

[掲載場所] 私塾界公式WEBサイト「月刊私塾界」カテゴリ「塾ダネ!」(2020/02/01)

(3)公式WEBサイトへの掲載※誌面掲載内容の転載

[公開日] 令和2年2月1日

[掲載場所] 公式WEBサイト「かんたん和朝食をつくろう!」カテゴリ「塾の日ごはん食育講座」

(4)「塾の日ごはん」小冊子およびご飯型の配布

[開始日] 令和2年2月1日

[数量] 10,000セット(「私塾界」発送時サンプルを含む)

[実施概要]

昨年度に制作した「塾の日ごはん」小冊子およびご飯型の活用を、学習塾経営者向けの月刊誌「私塾界」を通じて訴えた。同誌面には、埼玉県熊谷市の学習塾「ALCS」の生徒を対象に、監修者である相模女子大学栄養科学部管理栄養学科 吉岡有紀子教授による食育講座と、生徒自身による「おにぎらず」、「ごはんスティックストック」づくりの様子を、同塾の小川塾長、吉岡教授のコメントなどとともに掲載した。掲載内容は同誌公式WEBサイトおよび当協議会公式WEBサイトに転載。同誌の発送時には、小冊子とご飯型のサンプルならびに利用申込書を同封し、購読者への利用を促した。

令和2年度事業報告

(1)「塾の日ごはん」食育動画制作・公開

[公開日] 令和3年3月31日 ※公開日

[掲載場所] 公式WEBサイト「かんたん和朝食をつくろう！」カテゴリ「塾の日ごはん食育対談&食育動画」、YouTube(動画閲覧サービス)

[対象] 学習塾経営者、小中学生とその保護者等

(2)全国私塾情報センター月刊誌「私塾界」

[掲載日] 令和3年4月1日(2021年4月号)

[発行部数] 5,000部

[仕様] 見開きカラー2ページ(P.10~11)

[対象] 主に学習塾経営者

(3)公式WEBサイトへの掲載※誌面掲載内容の転載

[公開日] 令和3年4月1日

[掲載場所] 公式WEBサイト「かんたん和朝食をつくろう！」カテゴリ「塾の日ごはん食育対談&食育動画」

(4)「塾の日ごはん」食育資材製作・配布

[開始日] 令和3年4月1日

[数量] 3,000セット

[実施概要]

令和2年度も引き続き、平成30年度より取り組んでいる小中学生、およびその家族等を対象とする食育企画「塾の日ごはん」をテーマに事業を実施した。昨年度に月刊「私塾界」誌面にて紹介した「塾の日ごはん」に対し、全国の学習塾から食育授業のリクエストが寄せられたが、直後に広がった新型コロナウイルス感染症によって、いずれも実現に至らなかった。これを受けて本年度は、オンラインでも活用できる「塾の日ごはん」食育動画を、相模女子大学栄養科学部管理栄養学科 吉岡有紀子教授の構成・監修により制作し、当協議会Webサイト等で公開した。また、月刊「私塾界」へ同教授と学習塾経営者との食育に関する対談記事を掲載するとともに、同誌面で「塾の日ごはん」食育動画と同食育資材の利用を広く呼びかけた。

令和4年度事業報告

(1)「のりロールごはん」特設WEBページ制作・公開

[公開日] 令和4年9月1日／令和4年9月30日／令和4年10月31日

[掲載場所] 公式WEBサイト「のりロールごはん」特設ページ、YouTube(動画閲覧サービス)

[対象] 在宅勤務者とその家族等

(2)公式WEBサイトへの掲載

[公開日] 令和4年9月1日

[掲載場所] 公式WEBサイト「かんたん和朝食をつくろう！」カテゴリー「のりロールごはん」

[実施概要]

コロナ禍によって在宅食の機会が増え、「調理の負担」や「運動不足と食べ過ぎ」、朝食と昼食を兼ねた「ランチ」などの新しい食の流れが生まれた。こうした「軽食需要」を背景として、「調理の手軽さ」、「調理の楽しさ」、ならびに「家庭の食材活用」をコンセプトとした、海苔巻き型のミニおにぎり「のりロールごはん」の開発と提案を行った。この開発には、NHK「きょうの料理」や料理雑誌・Webメディア等で多数の実績がある、しらいのりこ氏(ごはん同盟)を起用し、のりロールごはんと、これに合わせる「手間なしのおかずと汁物」を併せて開発し、栄養バランスにも配慮した。

制作されたレシピ等は、公式WEBサイト内に新たに特設WEBページを設け、同時に制作した「作り方動画」とともに公開した。公開は、のりロールごはん6種と、手間なしおかず・スープ類計6種のレシピを、各2種ずつ、約1ヶ月おきに3回に分けて行い、各回とも、しらいのりこ氏のSNSなどからも発信を行い、アクセス数の向上を図った。